

愛寿会 たより

3 月号
第 201 号
平成 28 年
3 月 10 日発行



社会福祉法人 愛寿会

施設のご案内

〈 高 齢 者 福 祉 〉

特別養護老人ホーム 仁生園 (定員百三十二名)

入所者の意思及び人格を尊重しその方の有する能力に応じて可能な限り自立した生活をお送り頂けるようお手伝いを致します。当施設をご利用いただけるのは、身体上、精神上障害があるために常時介護が必要な方、また在宅生活が困難である方、要介護認定の結果「要介護3」以上と認定された方が対象となります。

仁生園ショートステイセンター (定員十九名)

ご家庭の都合等で一時的に介護ができない場合、一定期間施設を利用いただくことができます。空室の状況や心身の状態等によりご利用が困難な場合もあります。

仁生園デイサービスセンター (定員二十五名)

在宅生活されている方が日帰りで利用いただけるサービスです。送迎付きで、食事・入浴・排泄等の介護支援を行っています。季節に応じた屋内外の行事、レクリエーション等、年間を通じて実施され、豊かな生活づくりの支援をさせていただいております。

高齢者生活支援ハウス こあらま (定員九名)

北杜市内で独り暮らしに不安のある高齢者に対して、介護支援機能、居住機能および交流機能を総合的に提供することにより、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援し、もって高齢者の福祉の増進を図ることを目的として運営されています。

グループホーム やすらぎ (定員九名)

九人という少人数の生活の場で、できるだけ家庭に近い環境で共同生活を送ります。ここでは、スタッフと一緒に食事を作り、洗濯や掃除などみんなで分担を

しながら生活をおこないます。また、入浴や排泄のお手伝いも利用者の個性に併せた、一人ひとりにふさわしいケアを提供させていただきます。

仁生園介護相談センター (居宅介護支援事業所)

介護保険に関する諸手続きや、ケアプランの作成、個々の状況に応じたサービスのご提案やその利用方法など、ケアマネジャーがご相談に応じます。ショートステイやデイサービス、訪問介護等、自立支援を目的とした居宅サービスの利用の窓口となります。

〈 障 害 者 福 祉 〉

障害者支援施設 第二仁生園 (定員三十名)

施設入所支援、生活介護において、障がいをお持ちの方々の自立の促進、生活の質の向上を図ることができるよう支援いたします。また同時に、介護、生活等についての相談、助言も行います。

第二仁生園短期入所サービス (定員三名)

短期間の入所を必要とされる障がいをお持ちの方がご利用できます。入浴・排泄及び食事の提供その他必要な支援を行います。

第二仁生園相談支援センター

障害福祉サービスを利用するすべての利用者の方にサービス等利用計画を作成し、本人のニーズに基づいた支援、関係機関と連携した支援を行います。

施設利用のお申し込み・ご相談は、最寄りの居宅介護支援事業所又は直接施設相談員までお願いいたします。

仁 生 園 電 話 0 5 5 1 (3 2) 3 3 4 0
第 二 仁 生 園 電 話 0 5 5 1 (3 2) 8 2 7 0

♪ 節分 ♪

二月三日（水）、「節分」 豆まきを行いました。季節の変わり目には邪気（鬼）が生じると考えられており、それを追い払うため悪霊払い行事として執り行われます。



「福は内」「鬼は外」と大きな声を出す発声練習、鬼が目の前に現れると夢中で鬼に豆を投げました。

また、袴着用の年男（職員）も一緒に豆を投げ、「まいったー」と倒れる鬼、窓から逃げようとする鬼の姿を見て、フロアには大きな笑い声も響きました。

厄除けができて今年一年良い年であると安心して、豆まき終了後、年の数程は食べられませんが、皆で豆（甘納豆）を頂きながらお茶会を楽しみました。

「福は内」「鬼は外」と声を出しながら福豆（煎大豆）を鬼にぶつけることにより邪気を追いつけることはいよいよ一年の無病息災を願います。仁生園でもこの日入所者の皆様と「節分」について話をし、歌を

♪ お楽しみ会 ♪

二月十四日（日）、一階多目的フロアにてボーリング大会を行いました。各班より大勢の入所者様に参加していただくことができました。

ペットボトルをピンに見立て、ボールを投げ、倒した本数を競い合いました。ボールを投げる際はどの入所者様も真剣な顔つきでしたが、ご自身が投げたボールがピンを倒したところを見て、皆様笑顔になっていました。

入所者様から「どこを狙えばいい?」「もう一回投げていい?」などの声が聞かれ、楽しんで頂けました。

倒した本数が多い上位六名の方に、賞状をお渡ししました。賞状を受け取った入所者様達は、照れくさそうにしながらも「ありがとうございます」「楽しかったです」「す」と言いながら、受け取った賞状を見て喜ばれていました。

今年初めの開催となった「ボーリング大会」ですが、他のフロアの入所者様との交流を持ち楽しい時間を過ごされていきました。



♪ グループホームやすらぎ ♪

三月六日（日）、長坂コミュニティ・ステーションで行われました「寿美浩会舞踊の会」を観に行きました。

唄や踊りおしゃべりなど盛り沢山の内容で、会場は拍手と笑いの渦に包まれていました。

また、室内では「ちぎり絵」を作成中です。お内裏様とお雛様が仲睦まじく並び、真ん中に桃の花をあしらった華やかでかわいい「ちぎり絵」です。



完成した作品は、壁に飾ってあり、ご面会の折にご覧いただけます。



やすらぎフロアに飾り付けしました七段飾りの「ひな人形」です。



仁生園デイサービスセンター

仁生園デイサービスセンターの午後は、テレビ体操から始まりま

十分程の体操ですが、ゆっくり自分のペースで肩や首を回し、血液の循環を良くしていきます。その後、手芸や工作、読み聞かせ等のレクリエーション時間になります。



この日は、運動療法として新設した機器（レッグエクステンション・シオルダー・チェスト）を利用して、トレーニングをしました。

皆様、最新機器に興味津々。「どうやってやるだい」と言いながら、いつも以上に張り切って回数をこなしている方もいらっしゃいました。

怪我の無いよう職員が付き添い、無理なく行っています。

第二 仁生園

三月に入りお雛様を飾りました。



山梨では一ヶ月遅れの四月三日（旧暦三月三日）に「ひな祭り」をする家が多いようです。

日中活動の手工芸では、折り紙でおひな様を作り、作品は皆様のお部屋に飾ってありますので、ご面会の際にはご覧ください。

また、三月三日の昼食は手毬寿司、潮汁等のメニューで、おやつはひな祭り万頭でした。

「暖かくなったら散歩に行こうね」と楽しい会話をされていました。春が待ちどおしいですね。



後援会の皆様ありがとうございます

愛寿会后援会では、平成二十七年予算で、利用者の快適性と安全性を保つと共に介護業務にあたる職員の負担軽減に資する先進的な介護機器整備費として百三十万円を措置して下さいました。

仁生園の利用者は年を追って高齢化し、これに並行して介護度も上がっています。ベッドも上半身の移動、下半身の移動それに全身の移動と三段構えの電動ベッドが必要になっています。

今回は以上の機器を下記の写真のように整備させていただきました。後援会の皆様に心から感謝申し上げます。



感謝

平成二十八年二月一日

平成二十八年二月二十九日

愛寿会・仁生園・第二仁生園へのご協力ありがとうございました。

いつもご協力をいただき心から感謝申し上げます。今後とも利用者の皆様に、よりご満足いただける施設運営を目指し役職員一体となって誠心誠意努めて参ります。

何卒、これからもご支援のほどを、また、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。また、ご叱正略儀ながら、お礼状に替えさせていただきます。

金員・物品のご寄附

- ・シヤトル市 加藤 雄蔵 様
- ・北杜市 吉津 伸司 様
- ・北杜市 フジモリ電気 様

ボランティア活動

- ・レクボランティアほがらかグループ 代表 吉田 道子 様
- ・レクボランティアゆづつこの会 代表 佐野 恭子 様
- ・北杜市 うたなかま八ヶ岳 様
- ・北杜市 保坂 多枝子 様
- ・北杜市 青柳 昭次 様
- ・北杜市 山口 潤子 様

愛寿会サービスへのご意見・ご要望や施設見学等のご希望がございましたら左記までご連絡ください。

仁生園 電話 0551(32)3340
第二仁生園 電話 0551(32)8270

赤い羽根共同募金

助成事業完了のお知らせ

このたび平成二十七年年度 赤い羽根共同募金助成を受けまして左記の事業を完了することができました。

ここに事業完了のご報告を申し上げますとともにご協力を賜りました関係各位に対しまして、謹んで感謝の意を表します。

記

一、事業所名 生活支援ハウス「こあらま」

一、事業の内容 老人・障害者福祉事業

(ベッド購入)

一、補助金額 二四六、〇〇〇円

一、事業費総額 二五二、〇〇〇円

一、完了年月日 平成二十八年二月二十九日



社会福祉法人 愛寿会
理事長 小宮山 光彦

赤い羽根共同募金

助成事業完了のお知らせ

このたび平成二十七年年度 赤い羽根共同募金助成を受けまして左記の事業を完了することができました。

ここに事業完了のご報告を申し上げますとともにご協力を賜りました関係各位に対しまして、謹んで感謝の意を表します。

記

一、事業所名 障害者支援施設

「第二仁生園」

一、事業の内容 老人・障害者福祉事業

(床走行リフト一台整備事業)

一、補助金額 三〇〇、〇〇〇円

一、事業費総額 八六一、八一六円

一、完了年月日 平成二十七年七月二十四日



社会福祉法人 愛寿会
理事長 小宮山 光彦

インフルエンザ等感染症の時期となりましたので、例年通り面会制限させていただく日が出て来ること予想されます。